

共に歩む市民の会の これまでとこれから

Y 第一步

1997年10月、心の病をもつ当事者、家族、市民、支援職員などが立場や所属を超えて集まり、フリースペース「たまり場」をつくりました。その運営母体として生まれたのが「市民の会」です。

Y 第二步

2005年2月、旭区の精神障害者生活支援センター「ほっとぽっと」を開設。NPO法人となりました。

Y 出合いに向けて

心の病をもつ人たちは様々な生活上の障害（ハンディ）を背負い、周囲や社会の理解をなかなか得られず孤立しがちです。又、社会的入院を余儀なくされている人たちもまだまだ多くいます。

Y 私たちのおもい

病や障害を持ってはいても、仲間や支えてくれる人・支援とつながることで安心し、生きる力を取り戻している人たちを私たちは知っています。肩を並べて共に暮らしていける地域をつくっていきたくと心から願います。

Y 次の一步を共に！

たとえば…まず、耳を傾けること。知り合うこと。一緒にごはんを食べること。一緒に考えること。出来ることに取り組んでみる。行政や社会に伝えること…一緒に始めてみませんか？

事業内容



Q 心の病をもっている人や、身近に心の病をもっている方がいる人が気軽に悩みを相談するところがありますか？

A **ほっとぽっと**があります。

安心して自分らしく暮らすための地域の拠点【生活支援センター】です。日常生活の相談・支援の他、仲間と出会う憩いの場などもあります（詳しくは案内パンフをどうぞ）。

Q 心の病について、理解を深める活動はしていますか？

A **講師活動**の〈出前〉もしています。

当事者自身の声で、体験とおもいを伝えることを中心に活動しています。又、年に一回、区役所・区内関係者と協力して旭区精神保健福祉セミナーを開催し〈発信〉しています。

Q ほっとぽっとに来る人しかサポートしてくれないの？

A **訪問活動**を協力して行っています。

ひきこもりがちの方や、外出ができない方などへ、当事者・家族・ほっとぽっと職員がそれぞれの立場を活かし、訪問をしています。先ずはご相談ください。

Q 当事者同士がお互い助け合う場はありますか？

A **当事者クラブ**（旭びあくらぶ）があります。

月に1回当事者だけで集い、イベントを考えたり、勉強会を開いています。みんなが苦しみや喜びを分かち合い、夢をカタチにする場です。

Q 会員としてだれでも参加できるチャンスはありますか？

A **会員のつどいや研修会、文化イベント**があります。

様々なテーマで話し合うつどいや勉強会、コンサート（会員割引あり）などの文化イベントを行っています。

この他にもさまざまな活動に取り組んでいます。各活動ではボランティアを募集しています。興味を持った方、ぜひ参加してみませんか？

イラスト & マンガ：当事者会員作



○ 会員募集 ○

◆ 正会員 ◆

6,000円/年・1口

◆ 賛助会員 ◆

3,000円/年・1口

※当事者会員は正・賛助とも半額

◆ 団体会員 ◆

30,000円/年・1口

会員には年3回の会報及びイベントのご案内などをお届けします。

旭区地域生活支援拠点 ほっとぽっと

OPEN 10:00~18:00 日・月休館

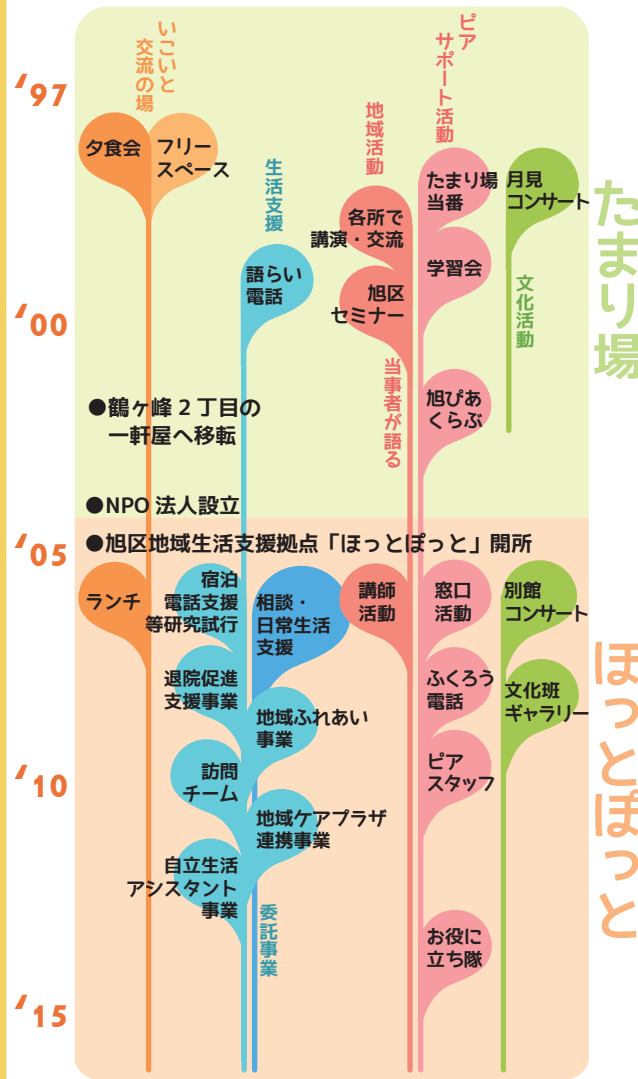


〒241-0022 横浜市旭区鶴ヶ峰2-1-16

TEL 045-953-6727

FAX 045-953-6762

共に歩む市民の会開拓史



共に考え、悩み、喜びませんか？
心の病を持つ人が、当たり前前に生きていけるために
特定非営利活動法人

共に歩む 市民の会

《事務局》

旭区地域生活支援拠点ほっとぽっと

http://www.geocities.jp/hottopot_a/top/

